



能勢町歌垣地区

志田 一真さん (43歳)

主な栽培品目
甘長とうがらし (甘とう美人)
白ネギ



大きく育った甘長とうがらし (甘とう美人)



ほく彩館でも販売中!



Q 始めたきっかけについてお聞かせください。

A 農業を始める前は、小学校の教員をしていました。家庭を持ったことをきっかけにこれからの人生を改めて考えるようになり、子どもと過ごす時間をもっと大切にしたいという思いが強くなりました。そこで、時間や規則に縛られず自分で自由に働ける仕事をしたたいと考えるようになり、興味があった農業への道を選択しました。甘長とうがらしを育てるようになったきっかけは尊敬できる師匠との出会いです。その方は京都府で万願寺とうがらしを栽培しており、自分に厳しく、私にも付度なく的確なアドバイスをしてくれる貴重な存在です。その方から勧められた甘とう美人という品種が、大量生産に適した品種であり、周りでチャレンジしている人も少なく自分の出荷スタイルにも合っていると感じ栽培を始めました。今では農業を始めて4年目に

なり、甘長とうがらしは昨年の2.5倍の量を栽培しています。

Q 生産のこだわりについて

A 圃場の整備や病害虫の防除、適切な仕立て方の徹底など、良い甘長とうがらしを育てるための環境づくりを基礎からしっかり整えようと心掛けています。また、農業は個人事業であっても、商品が形になって市場に出るまでにたくさんの方に助けられています。そのため、生産者や販売業者がひとつのチームであることを意識し、様々な意見を言い合うことができる関係づくりを心掛けています。

Q 嬉しかったこと・苦労していることはありますか。

A 嬉しかったことは、安定した生産ができるようになり、自分が思う形でお客様に届けられるようになったことです。お客様からいい反応がもらえたときはさらにやりがいを感じます。一方で苦労している

Q これからの目標や夢をお聞かせください。

A 私は自分の人生をより豊かなものにし、後悔なく一生を終えるため、農業を選びました。そのために日々努力する姿を自分の子どもや周りの人が見て何かを感じてくれたり、一緒に農業をしたいと思ってくれる人が増えたりすると嬉しいです。今は目の前の農業に真摯に向き合い、一つひとつ積み重ねたいと思っています。まずは今育てている甘長とうがらしをより良いものに仕上げ、お客様にしっかりと届けられるよう、これからも努力していきたいと考えています。